

につきましても、森林施行計画に沿った森林保安管理などの事業を推進し、本制度の目的である森林の育成に努め、環境保全および国土保全に努めてまいります。

生ごみ資源化施設「シリウス」については、昨年4月より本格稼働を開始し、市内各旅館をはじめ、主たる事業所および山ノ下、山根、沖各自治会の協力を得て、運転しております。

本市の環境負荷軽減の施策に關しましては、農林水産省をはじめ、全国から130団体、1,700人を超える見学者が訪れており、今後市民とともに、さらなる環境負荷の軽減を進めてまいります。

また、隣接する農業ハウスでは、親子延べ700名を超す利用者があり、前年に引き続き、小学校による農作業体験事業、あるいは親子のふれあい農園として活用すること、食糧、資源、環境の大切さを一体的に学ぶことが可能となりました。これにより、次世代を担う子どもたち、あるいは親子での環境意識のさらなる向上が図られること、循環型社会の実現を目指してまいります。

さらに、畜産農家に対して、家畜に関する排出物の適正処理を推進するため、前年に引き続き堆肥舎の施設改善を支援し、畜産の振興を図るほか、果樹、野菜、柿の里構想の継続など、積極的支援を講じてまいります。

防災

次に防災関係でございますが、安心して暮らせる生活環境を維持するため、土地分類細部調査に基づく土地の自然的社会的条件を踏まえ、「白石市地域防災計画」を改正すると同時に、防災マップや各地区の意見を反映した防災カルテを作成し、防災関係機関との連携強化を図り、行政・市民・事業所などが一体となった、計画的かつ柔軟な災害予防対策の推進を図ります。

また、住宅などの地震災害を予防する観点から、平成15年度より実施しております「木造住宅耐震診断士派遣事業」および「スクールゾーン内危険ブロック塀等除却事業」に加え、平成16年度から、木造住宅の精密診断と改修計画の策定を行う「木造住宅耐震改修等計画助成事業」、木造住宅耐震改修の促進を図るため「木造住宅耐震改修工事助成事業」および危険ブロック塀などの除却を促進するため、「生け垣等設置助成事業」を実施し、安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。

教育

次に教育でございますが、施設整備につきましても、地震対策事業として越河小、福岡小学校校舎の耐震補強工事を実施すべく実施設計を進めており、他校の建物についても引き続き耐震化を図ってまいります。

ます。

農業集落環境の保全と整備につきましては、農道齋川板木線の改良工事ははじめとして、継続実施するとともに、未整備の路線につきましても、平成16年度においてふるさと農道緊急整備事業の採択を受け、5路線、総延長2,458メートルの早期完成に向け鋭意努力してまいります。

また、地域の自然環境、生活環境向上のため、平成16年度に下水道事業の認可区域の変更を行い、新たに郡山虎子沢地区、大鷹沢田中地区、福岡長袋三郎山、永坂地区、福岡深谷松田、南沖地区など86・8ヘクタールを整備区域に加えてまいります。さらに、越河地区の農業集落排水事業を、約6億4千万円の事業費により、継続して整備してまいります。



整備の進む越河地区農業集落排水事業

生涯学習・市制施行50周年

次に、市民が心豊かに暮らせると同時に、白石の文化を継承、発信していくための「生涯学習都市」の実

現であります。

市民の生涯学習活動は、学ぶ喜びとともに、学んだことを通じて地域づくりに還元しようとする高まりをみせております。

一例として、きれいな水に住むホタルが生き続けられる自然環境を後世に残すため、地域一体となって整備活動をしているグループや、豊富な史跡、文化財を再認識し冊子にまとめ継承しようとするグループなど、地域に誇りを持ち、本市の豊かな環境、歴史、文化の資源や、これまで整備してきた学習施設を積極的に活用した、個性ある活動が広がっています。

今後も、「生涯学習フェスティバル」などを通して、市民の生きがいや地域づくりの学習活動を喚起し、潜在的な学習要求を実際の活動に結び付くよう、市民と行政のパートナーシップにより推進してまいります。

また、本市は、本年4月に市制施行50周年を迎えることとなります。この記念すべき時を、全市民とともに喜び祝い、本市の新しい時代を創造する契機とするため、昨年8月から各種記念事業を実施しております。今年予定している記念事業は、4月1日に市制施行50周年を祝う記念式典を実施するほか、8月15日に「NHKのど自慢」の開催、さらに「4万人市民の森づくり」の実施、「市民オペラ」の公演、「白石の風景

また、市立図書館の一つの特色として、我が郷土白石の歴史、文化、自然などに関する文献・論文を収集し、郷土に対する正しい理解づくりに努めてまいります。

障害児地域教育の充実のためには、平成15年4月に、白石第二小学校に角田養護学校白石校が開校いたしました。が、小学部卒業後も引き続き市内で教育が受けられるよう、本年4月に、白石中学校に同校中部が開校の予定となっております。

平成15年度から仙南2市7町と仙台都市圏の公共施設が小・中学生へ土・日無料開放となりましたので、これらの施設の活用により、完全学校週5日制や総合的学習の充実を図り、地域の特色を生かした教育活動を推進するとともに、地域と密着した教育体制を目指し、引き続き支援してまいります。

都市基盤整備

次に都市基盤の整備でございますが、市街地全域を網羅するための第二循環線としまして、都市計画道路「沖の沢郡山線」の開通を目指し、本年度は改良工事のための用地買収および建物移転の補償を実施するとともに、道路の載荷盛土工事に着手いたします。

また、平成16年度から、新規の補助事業としまして、越河五賀地区において「市道原線道路改良事業」に着手してまいります。本年度は、測

量設計調査をはじめとして、用地買収および建物移転の補償、さらには一部改良工事を実施いたします。さらに、高齢者や身体障害者などの、公共交通機関を利用した移動の利便性および安全性の向上を促進するため、JR東日本、国、県、白石市がそれぞれ費用を分担して、白石駅および白石蔵王駅構内に乗降客用のエレベーターを設置し、駅のバリアフリー化による「やさしいまちづくり」に取り組んでまいります。

商工

次に商工関係でございますが、本市が策定した「白石市中心市街地活性化基本計画」に基づき、住民参加型で立ち上げた、まちづくり株式会社や地元商店街組合が積極的に取り組む、商店街活性化事業に対して、十分計画を検討の上、支援してまいります。特に今年度は、旧高基跡地を白石市土地開発公社から買い戻すこととなりますので、これから商店街などのイベントに活用できるように整備を進めてまいります。



旧高基跡地

50選」および「50年後の市民へのメッセージ」発表、そして50年の出来事を記録にとどめる「記念年表」の発行などを行ってまいります。

また、多くの市民の皆様の参画と参加を得ながら、市制施行50周年記念協賛事業として、市民自らの手づくりによる自主運営事業が実施されてきており、これらの協賛事業は、多くの市民の皆様の共感を呼んでいるところ です。

記念事業は、「新ホワイトプラン」に掲げております「市民と行政のパートナーシップ」によるくらし日本一のまちづくりを実現すべく、市民が参画・参加する実行委員会が実施しているところでもあります。

男女共同参画

男女共同参画社会の実現を目指しましては、男女共同参画基本計画を3月に策定いたします。この計画は、平成25年を目標年度に、あらゆる分野において男女共同参画社会を実現するために、社会全体、地域、家庭、教育・学習、職場の5つの分野ごとに、それぞれ基本目標を掲げ、施策の方向、施策の項目、具体的な事業を示します。

今後、この計画に基づき、市が率先して取り組み、多くの市民や事業所などの参画を働きかけて各種事業を展開するとともに、男女共同参画社会の実現に向けての意識の啓発を図ってまいります。

また、雇用・経済対策につきましましては、昨年度奨励金の上積みをし、内容を充実した本市独自の「再就職促進奨励金」や、「緊急新卒者雇用対策事業」を継続するとともに、市制度融資限度額2千万円の延長、保証料の全額補給を継続してまいります。

以上、平成16年度の重点事業については今まで述べたとおりですが、最後に産業廃棄物問題については、小原上戸沢の最終処分場、市内への不法投棄対策など、今後も住民、議会、行政が一体となり、本市独自の「水道水源保護条例」を含め、関係各機関と連携を図りながら、あらゆる手段をもって白石の自然環境を守ってまいります。

また、本市の財産であり、観光資源でもあります蔵王の美しい自然景観の保全につきましても、全力で取り組んでまいります。

本年は、市制施行50周年を迎える記念すべき年であり、新しい時代への船出の年でもあります。

私は、新たな時代に向けて文化の薫る、活力に満ちたふるさと白石を築くため、全力で市政を執行してまいり所存であります。

今後とも、市行政全般に対する、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。施政の所信表明といたします。